

父のめいっばいの愛と、皆の暖かい手で、僕は大人になった――

これは、
僕の〈家族〉の物語。



とんび

阿部 寛

北村匠海 杏 安田 顕 大島優子

濱田 岳 宇梶剛士 尾美としのり 吉岡睦雄 宇野祥平 木竜麻生 井之脇海 田辺桃子

田中哲司 豊原功補 嶋田久作 村上 淳

廣 赤兒 麻生久美子 / 薬師丸ひろ子

原作：重松 清「とんび」(角川文庫刊)

監督：瀬々敬久

脚本：港 岳彦 音楽：村松崇継

主題歌：ゆず「風信子」

製作：堀内大示 藤田浩幸 曹华益 有馬一昭 藤本鈴子 永田博美 石垣裕之 田中祐介 酒井一志 五十嵐淳之 三村千鶴 内田章文 中尾公 小原剛夫 大森知彦
企画：楠直和 永上繁雄 企画プロデュース：伊藤洋雄 プロデューサー：天馬少彦 ラインプロデューサー：田辺正樹 アソシエイトプロデューサー：中治人
撮影：青藤幸一 照明：豊見山明長 録音：高田伸也 美術：磯見俊裕 演出：龍田哲見 スタッフ：江口由紀子 編集：早野亮 VFXスーパーバイザー：立石啓
音響効果：岡崎品彦 タイトルデザイン：赤松肇 衣装：スライスト 顔面メイク：日向美 小島尚子 特殊メイク：石武明 ケースティング：梅本竜矢 助監督：海野敦 制作担当：鈴木健太
製作：「とんび」製作委員会 制作プロダクション：ダイゴ&フューズ 配給：KADOKAWA イオンエンターテイメント
協賛：ネット・アライズ 11222 山崎天 後援：岡山県 広島県 特別協力：福岡県ラック協会
©2022「とんび」製作委員会 2022 / 日本ノクターン・ピクチャーズ / 139分 (G)

11月27日(日)①10:00 ②14:00 海南文化館ホール



不朽の名作、重松 清「とんび」待望の初映画化
 阿部 寛 × 北村匠海 新たな“とんびと鷹”で贈る、
 いつの世も変わることもない親子の絆を描く“家族の物語”

幾度途切れても必ず繋がってゆく親子の絆を描いた、大ベストセラー小説「とんび」。今この時代にこそ届けたいと、初の映画化が実現。主人公の、破天荒ながら愛すべき父・ヤス役には、『テルマエ・ロマエ』『下町ロケット』などの大ヒット作で、圧巻の表現力と存在感を放つ阿部 寛。ヤスの息子・アキラ役には、若手実力派の中でも突出した才能を発揮する『君の隣にたべたい』『東京リベンジャーズ』の北村匠海。多くの深遠な物語をエンターテインメントとして昇華させてきた『64-ロクヨン-』『糸』などの瀬々敬久監督の元に、薬師丸ひろ子、杏、安田 顕、大島優子、麻生久美子、他豪華キャストが集結した。さらに、日本中に愛と勇気を与え続けるアーティストゆずにより書き下ろされた主題歌「風信子」^{ヒヤシンス}が、エンディングを彩る。これは、古き良き時代の物語にとどまらない、新たな時代への希望を予感させる《今、そして未来へ繋がる家族の絆の物語》。

STORY 日本一不器用な男・ヤスは、愛する妻・美佐子の妊娠にも上手く喜びを表せない。幼い頃に両親と離別したヤスにとって、“家族”は何よりの憧れだった。時は昭和37年、瀬戸内海に面した備後市。アキラと名付けた息子のためにも、運送業者で懸命に働くヤスだったが、ようやく手にした幸せは、妻の事故死によって脆くも打ち砕かれる。悲しみに沈むヤスだったが、人情に厚い町の人々に叱咤激励され、彼らの温かな手を借りてアキラを育ててゆく。時は流れ、高校3年生になったアキラは、東京の大学を目指し合格を勝ち取る。だが、別居の寂しさを素直に伝えられないヤスは、「一人前になるまで帰って来るな!」とアキラを突き放す。そして昭和63年、久々に再会したヤスと大人になったアキラだったが――。



日時・11月27日(日) ①10:00~12:19 ②14:00~16:19

各回200席

場所・海南文化館ホール

主催・海南文化館・徳島映画センター
 お問い合わせ・TEL0884-73-3100(海南文化館)

前売券販売場所

チケット代金

- ・海南文化館
- ・海陽町役場「突喰庁舎」
- ・海の総合文化センター
- ・リパティ(牟岐)
- ・リーブル若山(ピアカイフ)
- ・海陽愛あいクラブ

- ・一般・大学生…**1,000円**
 (当日1,200円)
- ※60歳以上の方は当日1,000円
- ・こども…**500円**(当日も同額)
- ・ペア券…**1,800円**(前売り券のみ)
 (おとな2人)